



環境安全システム学分野

こんな問題に取り組んでいます

大学も含めた各種事業活動からは、さまざまな廃棄物（産業廃棄物）が発生します。こうした**廃棄物**について、有害なものを安全に**無害化処理する技術**の開発や、**燃料資源に変換する技術**の開発に取り組んでいます。

こんなことがわかってきました

- これまで、以下のような技術について研究してきました。
- ・**超臨界水酸化処理**による有害有機廃棄物の無害化処理
 - ・超臨界水を利用した**下水汚泥からの燃料ガス生成**
 - ・高温高圧水を利用した水産系廃棄物から有価物回収

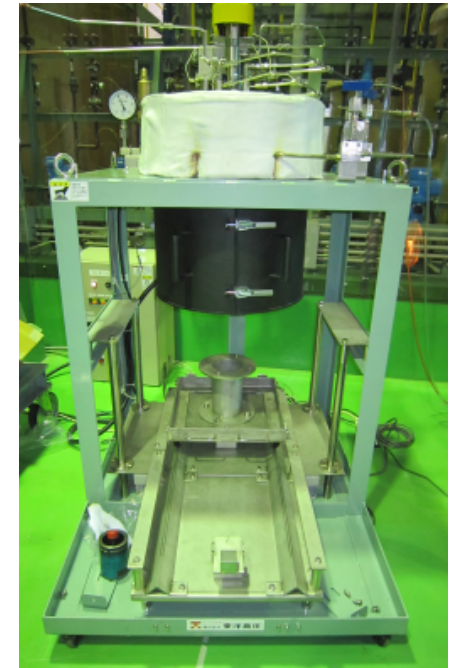
研究の成果はこんな分野に活かされます

「超臨界水酸化処理技術」は、右の写真の装置により、この東大柏キャンパスで発生する実験廃液の無害化処理に利用されています。他方の超臨界水ガス化実験装置は、下水汚泥からの燃料ガス生成の実証研究に使用されています。

関連展示: 東京大学環境安全研究センター柏支所にて
連絡先: 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 環境システム学専攻
布浦鉄兵 <nunoura@esc.u-tokyo.ac.jp>



超臨界水酸化装置



超臨界水ガス化実験装置

※ 共に東大・環境安全研究センター柏支所内に設置されています